

分べつをして地球を守ろう!!

生物と共に

いきまよう新聞

発行者 3年
神原鈴音

藤前干潟を守るために 私たちができる事

藤前干潟は名古屋港にある干潟です。今はおよそ350ヘクタールです。シギやチドリなどの渡り鳥が来ることで有名です。

今からやく30年前、名古屋市がこの干潟を「ごみ処分場にする」という計画を立てました。しかし、生き物にとって大切な場所であるということがみとめられて、そのままのこえれることになりました。

その後、名古屋市では「ごみ」の分べつが進みました。

- ① 私は藤前干潟についてもっと知りたくて活動センターに行き、マイデータビューをしてきました。
- ② 「干潟をのこすためになにが大へんだったか?」
- ③ 「みんなに干潟の大切さを伝える事だよ。干潟にはたくさん生物が住んでいるんだ!」
- ④ 「これからは干潟を守るためにどんな活動をしていきますか?」
- ⑤ 「干潟だけではなくその流域を守る活動をしていきたいです。」
- ⑥ 「干潟にはたくさん鳥の鳥が住んでいる事を初めて知りました。ありがとうございます。」



渡り鳥のルール

渡り鳥は約1万2千kmのたびをします。藤前干潟は渡り鳥が休けいしたり、えさを食べたりするための大切な場所です。

藤前干潟に来る鳥たち

| | |
|-------|--------|
| ★ハマシギ | ★アオサギ |
| ★スズガモ | ★カワウ |
| ★スズカモ | ★ミサゴ |
| ★ダイゼン | ★チュウサギ |
| ★トウネン | ★ササコイ |
| ★ダイシギ | ★コアシサシ |
| ★シギ | |

このおぼろいこのおぼろいこのおぼろい

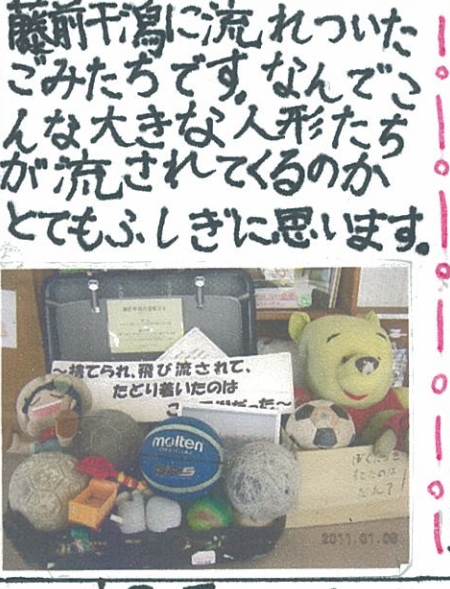
このおぼろいこのおぼろいこのおぼろい

エコって...?

お姉ちゃん、エコって何?

まっちゃん、エコって何?

エコって、ごみを減らすこと、リサイクルすること、自然を大切にすること、です。



藤前干潟は、遠くから来た渡り鳥が休む場所です。地面を踏んでしまうと、鳥の足が痛くなります。エコ活動で、ごみを減らすことで、渡り鳥が安心して休むことができます。

- ### ごみをへらすeco活動
- ✔ マイバッグで買い物(再)
 - ✔ シジメ袋のゴミがなくなる。
 - ✔ マイボトル持参(再)
 - ✔ エコバッグのゴミがなくなる。
 - ✔ 古新聞で家ごみ(再)
 - ✔ ぞうきんの使用がなくなる。
 - ✔ キタナくなった服をフリマでリサイクル(再)
 - ✔ 服のゴミがなくなる。

「でもエコって、難しいよ。」

「でも、エコって、簡単だよ。」

「例えば、ごみを減らすこと、リサイクルすること、自然を大切にすること、です。」

この新聞を作ったのは、私です。エコ活動で、ごみを減らすことで、渡り鳥が安心して休むことができます。4月から名古屋市の分べつがかわるそうです。私もその分べつをし、リサイクルで、ごみを減らすことで、渡り鳥が安心して休むことができます。

干潟の鳥の色は?

Q1 干潟がみれなくなるきせつはあるかないか?

Q2 干潟のまの色は何色か?

答は、まごめ、まごめ、まごめ